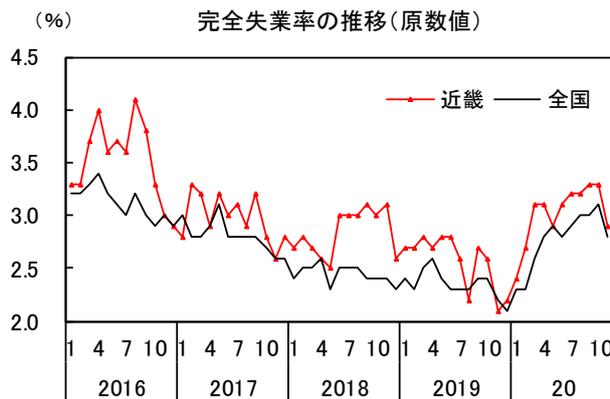
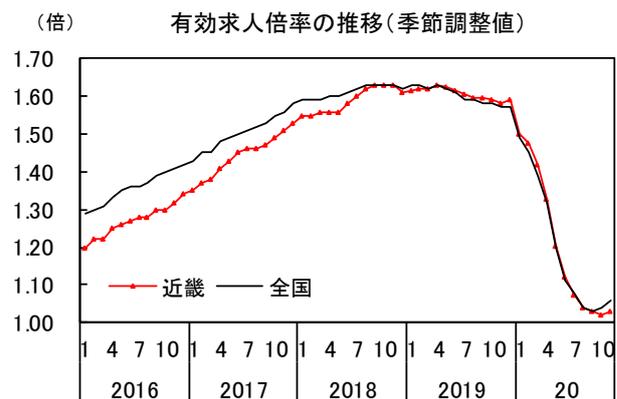


関西の景気トピックス【雇用関連（20年11月）】

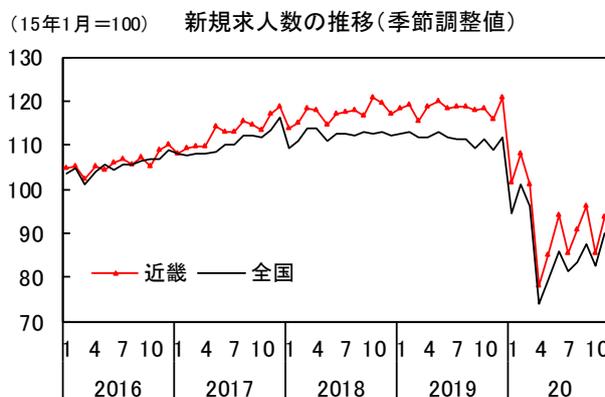
- 20年11月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は2.9%（原数値）と、前年比で0.8ポイントの上昇となった。前年を上回るのは9か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で4万人の減少となったほか、失業者は8万人の増加、非労働力人口は9万人の減少となった。就業者の減少は7か月連続で、失業者の増加は10か月連続。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、20年6月は1.03倍（季節調整値）と前月比で0.01ポイント上昇した。有効求人倍率が上昇となるのは11か月ぶり。
- 有効求人倍率は前月比で上昇に転じたものの、今後も新型コロナウイルスの影響が続く中、景気の本格回復にはまだ時間がかかるとみられる。失業者の増加に加え、賃金の低下などには今後も注意が必要となろう。



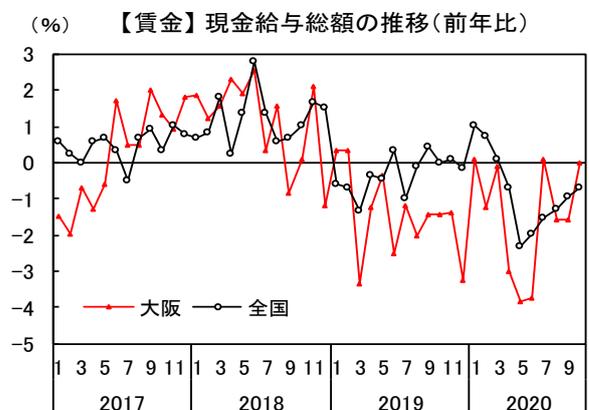
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」